

田舎原氏

徳意

固貞

種彦

鶴彦

十四番



十四編上



種彦作
因貞画

中世の物語

弓のりのみ



種彦作
田舎源氏
第十四編 上冊
仙雀堂梓

國貞画



修紫田舎源氏第十四編

十月の牡丹餅何お板置意ハ。亥よ喰子に喰と昔この
謎語より。その編の彼子の子の餅三箇の大事の一ツめて
揚名之女宿直娘赤本作者の知事事々ねと略て六筋が解を
の謎と案のつぎ。亥の子の羽の子あを栖落宿直娘六深川の
名れのつぎ。麻風呂娘さて吉原の仕舞れ身あつとも雅なと
當客の名を書き揚名をみるやと。たう中もうけあそくと
物るれのままあ作れと當を説ハ三つふもくして四冊は綴り
かうねふとせまうて既十四編予が面もき八巻知ぬ板元ハ
あなきうの初の日擇と七賣知をも最とくま

天保乙未春

柳亭種彦



阿古木
あこぎ



神姫の

志願の

杉の

あけ

いさよほえそ

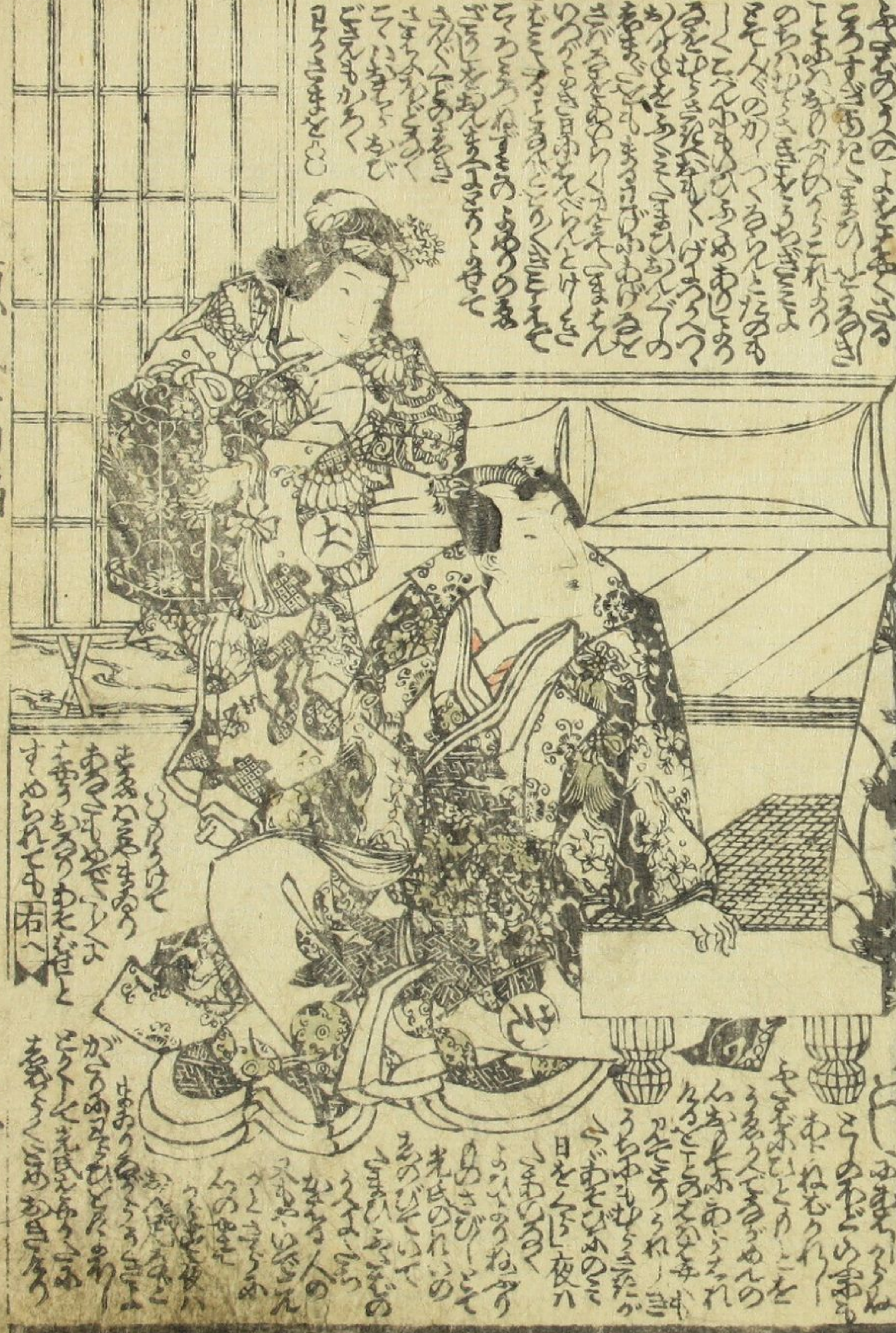
とあそ

空衣
くうい





そののののののののののの
 たふりーんん山あむのののの
 父兄のまをさつひさふん
 のののののののののののの
 かせののののののののののの
 うめうめひさひさひさひさ
 ちののののののののののの
 ちののののののののののの
 ちののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの

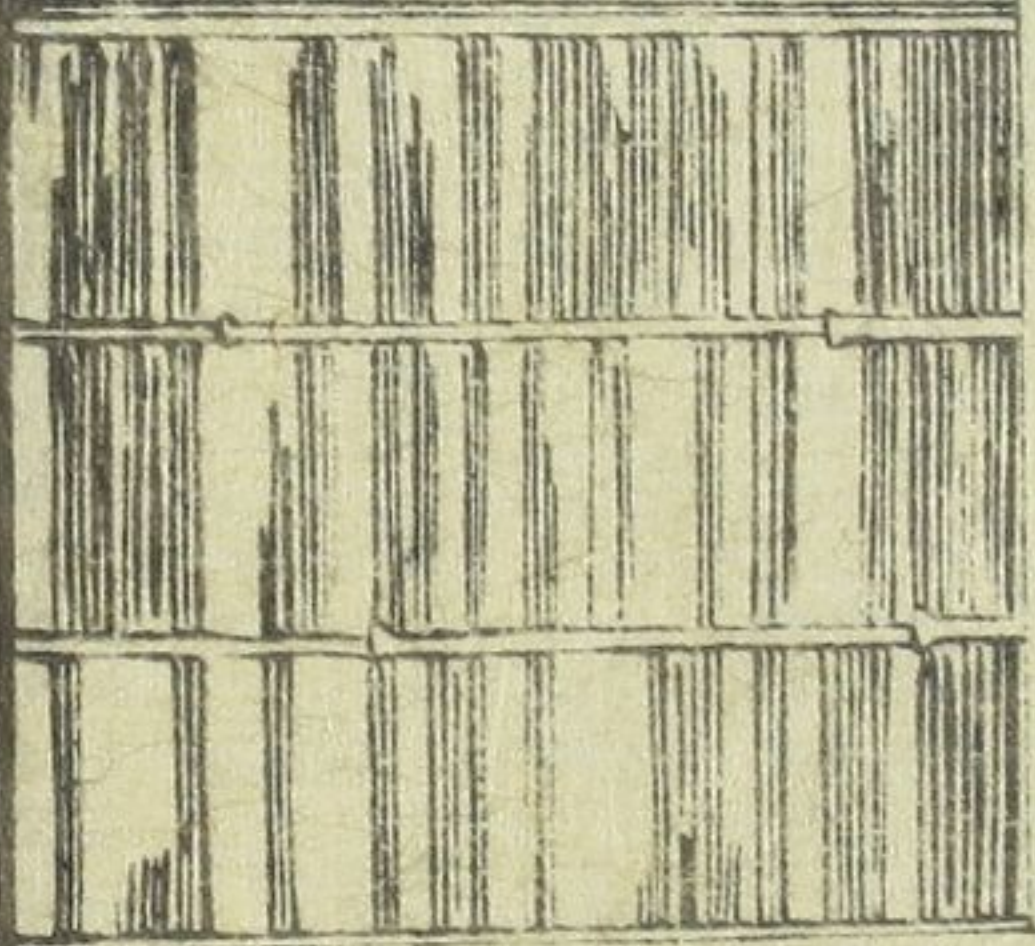


そののののののののののの
 たふりーんん山あむのののの
 父兄のまをさつひさふん
 のののののののののののの
 かせののののののののののの
 うめうめひさひさひさひさ
 ちののののののののののの
 ちののののののののののの
 ちののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの
 ののののののののののの





源氏物語の一場を写したもので、右の女は光源氏の御方と推定される。その装束は豪華な文様を帯び、髪も高く結ばれている。背景には障子や壁の模様が見え、室内の静寂が感じられる。

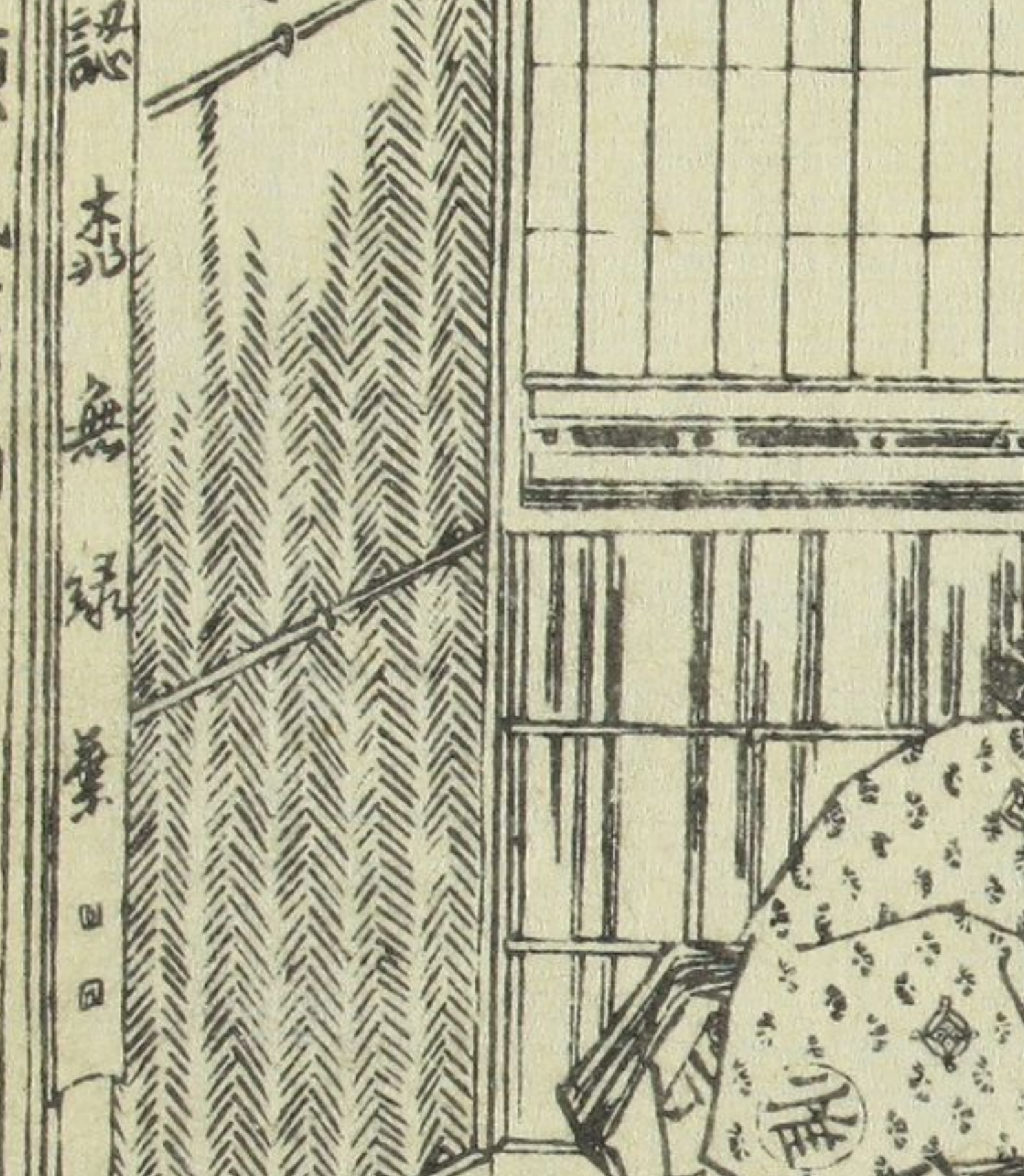


源氏物語の一場を写したもので、右の女は光源氏の御方と推定される。その装束は豪華な文様を帯び、髪も高く結ばれている。背景には障子や壁の模様が見え、室内の静寂が感じられる。



源氏物語の一場を写したもので、右の女は光源氏の御方と推定される。その装束は豪華な文様を帯び、髪も高く結ばれている。背景には障子や壁の模様が見え、室内の静寂が感じられる。

源氏物語の一場を写したもので、右の女は光源氏の御方と推定される。その装束は豪華な文様を帯び、髪も高く結ばれている。背景には障子や壁の模様が見え、室内の静寂が感じられる。



源氏物語の一場を写したもので、右の女は光源氏の御方と推定される。その装束は豪華な文様を帯び、髪も高く結ばれている。背景には障子や壁の模様が見え、室内の静寂が感じられる。



Handwritten text in the left margin of the top illustration, written vertically.



Handwritten text in the left margin of the bottom illustration, written vertically.

Main body of handwritten text on the left page, written vertically in columns.



Handwritten text in the top margin of the right page, written vertically.

Main body of handwritten text on the right page, written vertically in columns.

空衣野中の別荘の河古木を
 思れ家々
 くれかろ
 空衣野中の別荘の河古木を
 思れ家々
 くれかろ

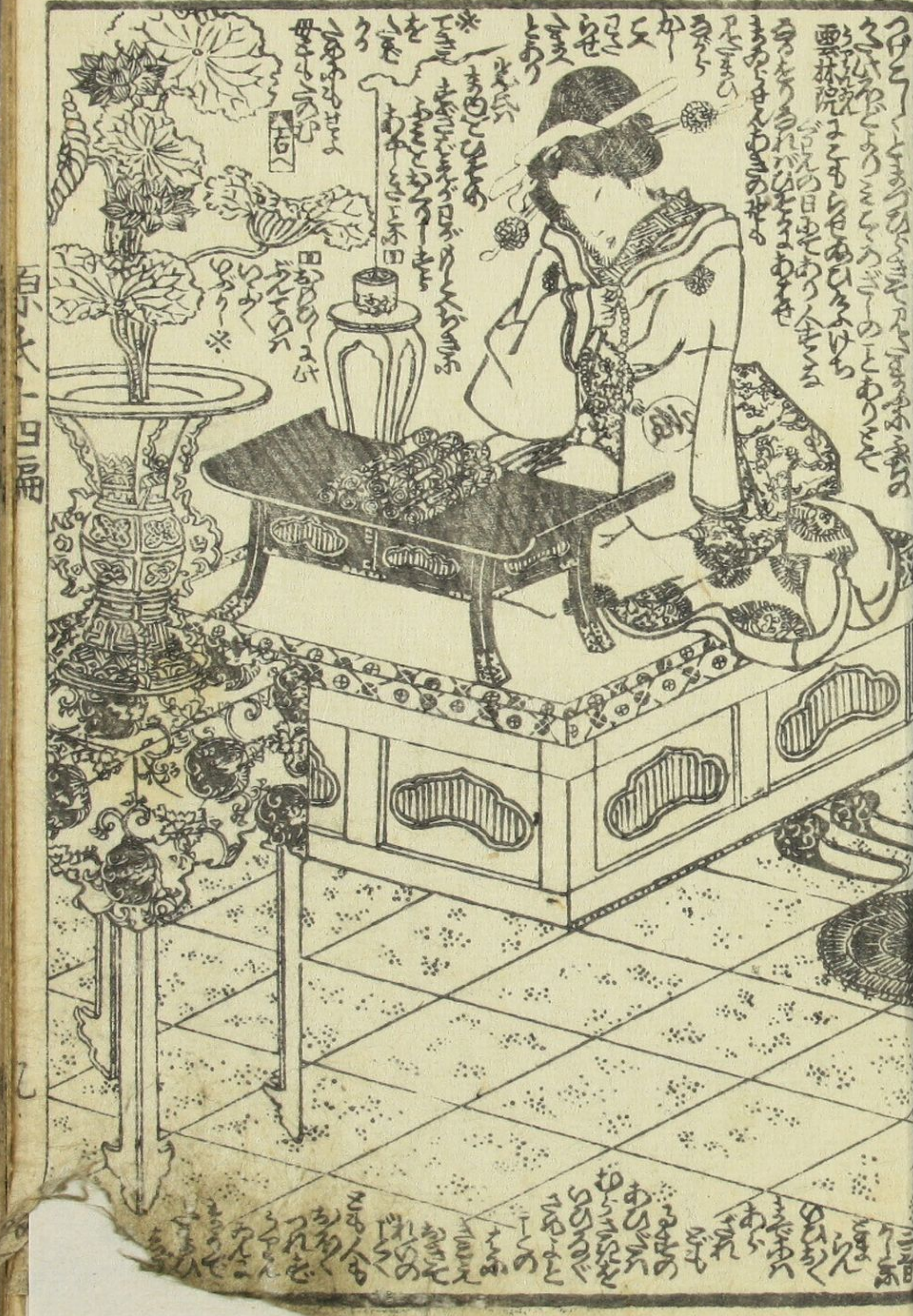


空衣野中の別荘の河古木を
 思れ家々
 くれかろ



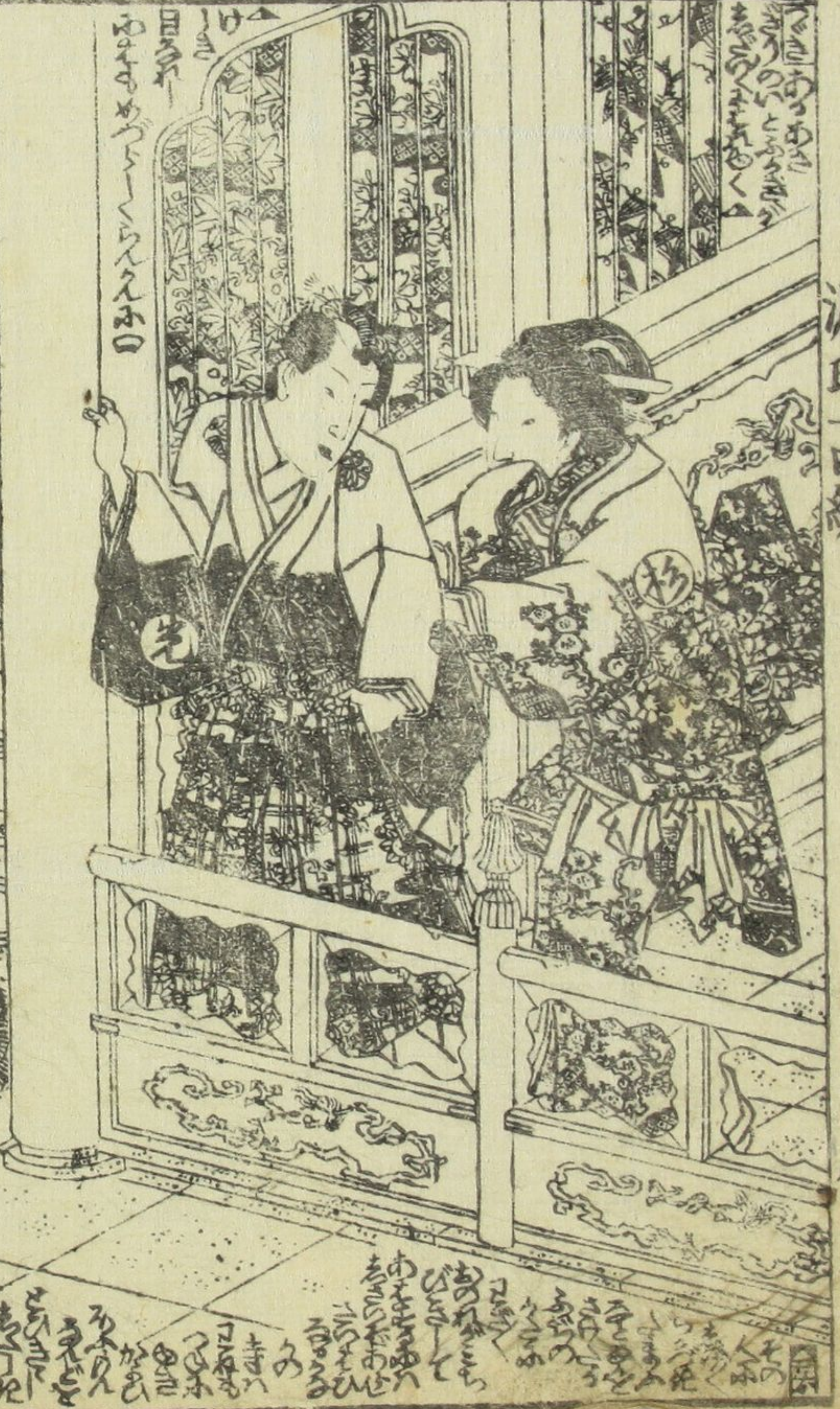
空衣野中の別荘の河古木を
 思れ家々
 くれかろ





源氏十四集

源氏十四集
源氏十四集
源氏十四集



源氏十四集

源氏十四集
源氏十四集
源氏十四集

Central illustration: A woman in a kimono sitting on a chair, holding a long object (possibly a sword or a musical instrument).

Vertical text columns on the right side of the top illustration.



Vertical text columns on the left side of the top illustration.

Vertical text columns between the two illustrations on the right page.



Vertical text columns on the right side of the bottom illustration.

Vertical text columns on the left side of the bottom illustration.



Vertical text columns on the right side of the large illustration.

Vertical text columns on the left side of the large illustration.

Vertical text columns at the bottom of the large illustration.

國貞画種彦



田舎源氏錦繪

ふせのあるところ所を追くお板仕
多まゆの松橋。室町のやまの夜景。出来
そのあつ。さすの雪。五糸の夕ぐれ。あまきりしゆ
歌川國貞画

前北齋為一翁画

江戸島大山往來雙六
先年より賣ひあふ多く摺印しるは板を彫あふと別て紙
摺り等精密に相製する
柳亭撰

同翁画東海道五十三次錦繪

中奉書八ツ切り

是又佳紙をえらぐと柄彩色色袋入に製しおきゆる所年五書
西きねのゆてより一歩月とあひの程奉書なる

考訂大和詞

柳亭校

弄花翁撰

歌舞妓年代記初編拾遺

柳亭種彦編

故馬馬翁の書りしれは事どもとある古圖古画をおわくうつ
近刻

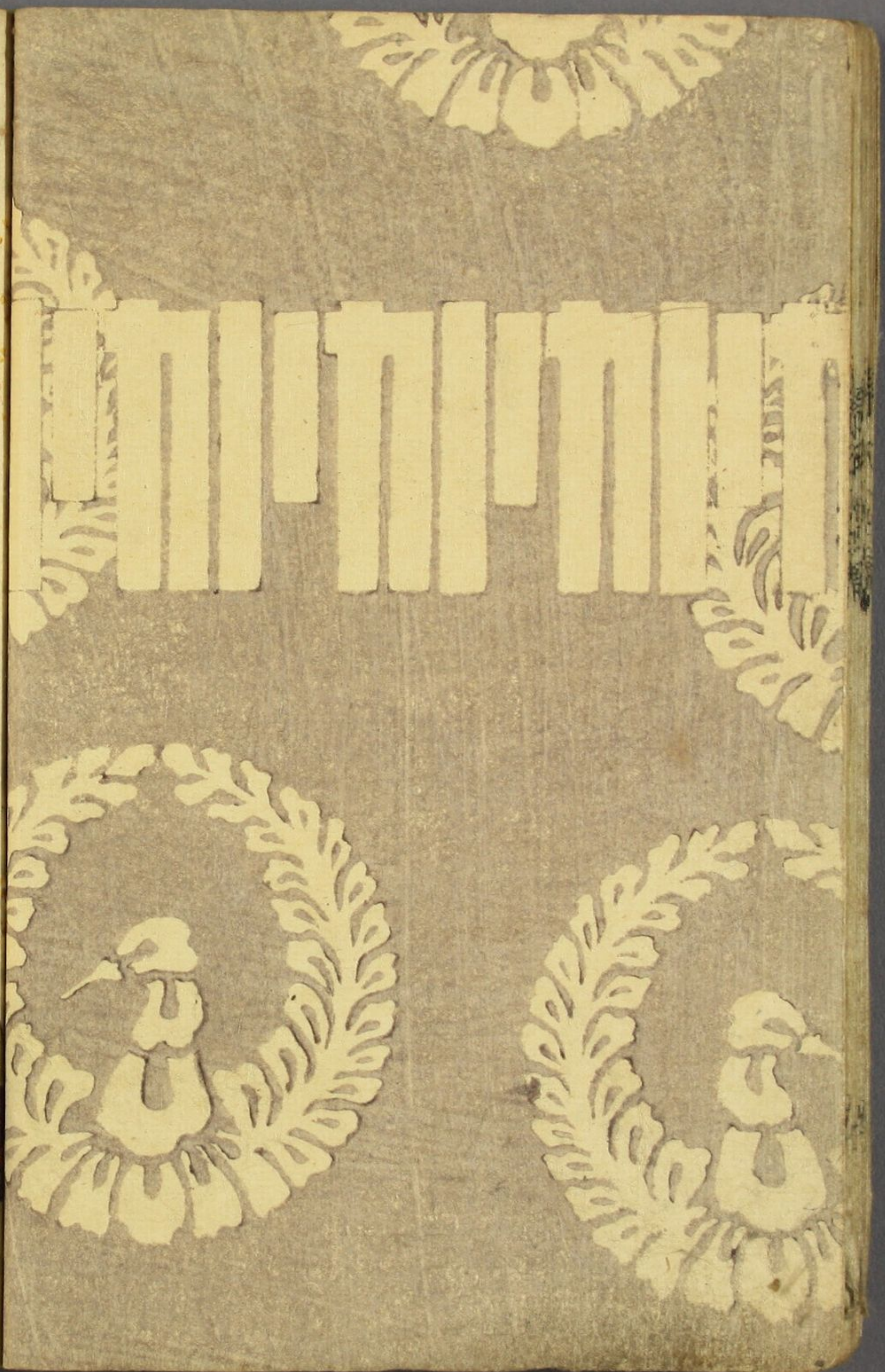
江戸通油町地本書林

仙鶴堂

小林喜右衛門印行



十四編下

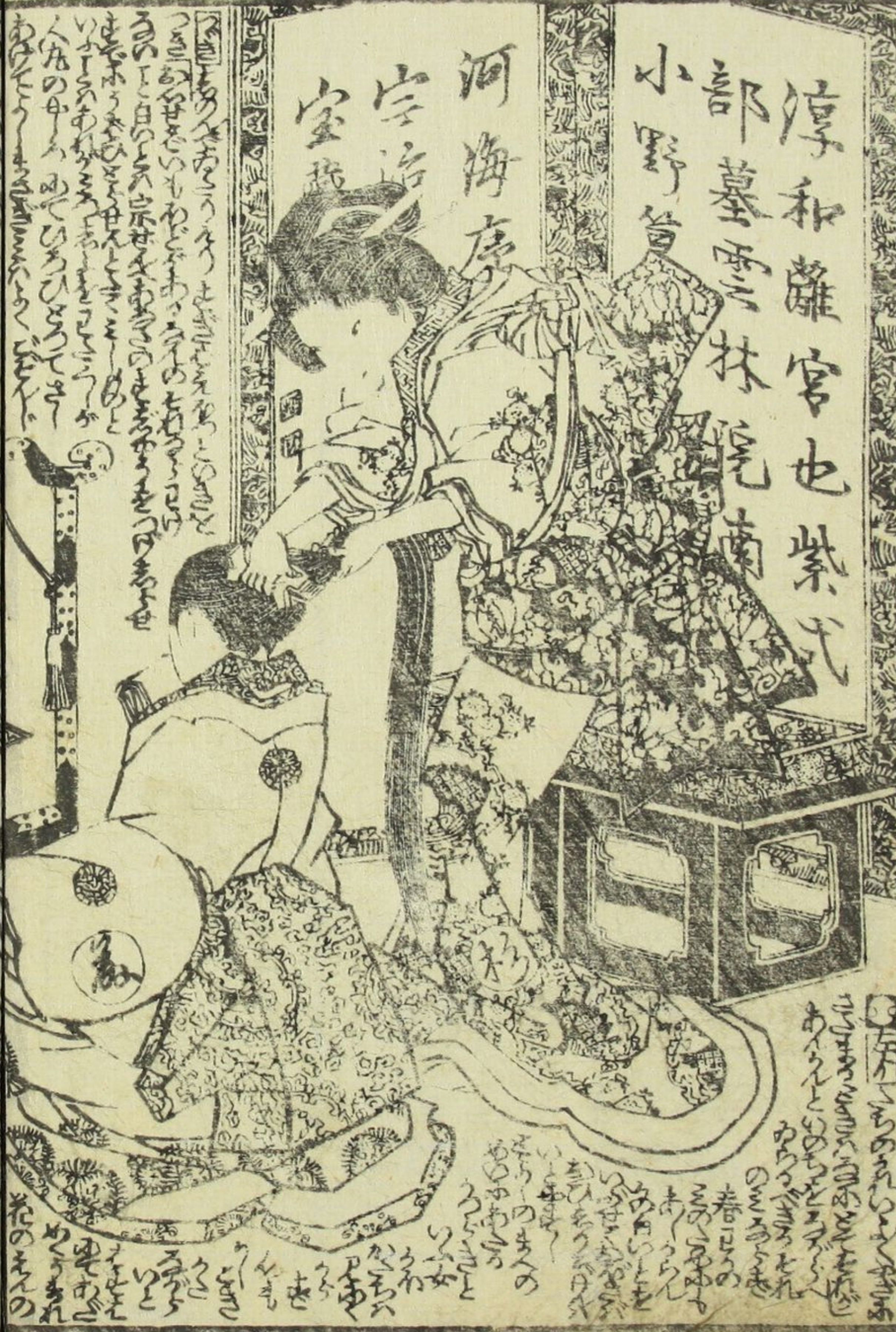


淳和離宮也紫式部墓所之林院南小野宮

河海亭

宗治

室持



源氏物語卷之四十四
淳和天皇御時
宗治御時
室持御時
河海亭御時
紫式部御時
小野宮御時



源氏物語卷之四十四
淳和天皇御時
宗治御時
室持御時
河海亭御時
紫式部御時
小野宮御時

〇五の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを
 〇六の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを
 〇七の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを

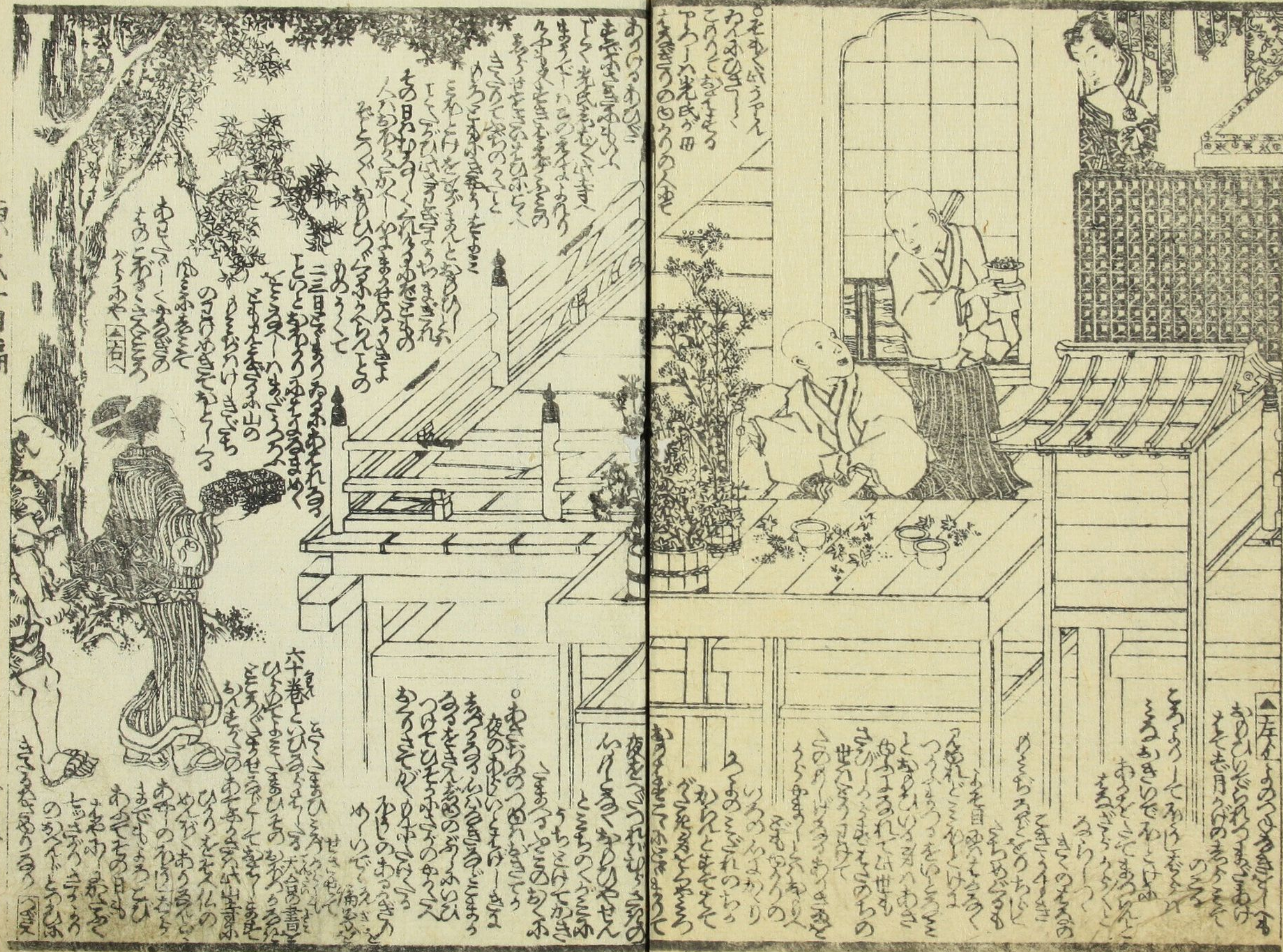


〇八の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを
 〇九の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを

〇十の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを
 〇十一の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを
 〇十二の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを



〇十三の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを
 〇十四の人のまゝをえをうられが
 されたる一おのりのうを



Handwritten text in the top right section of the right page, likely a preface or introductory text.

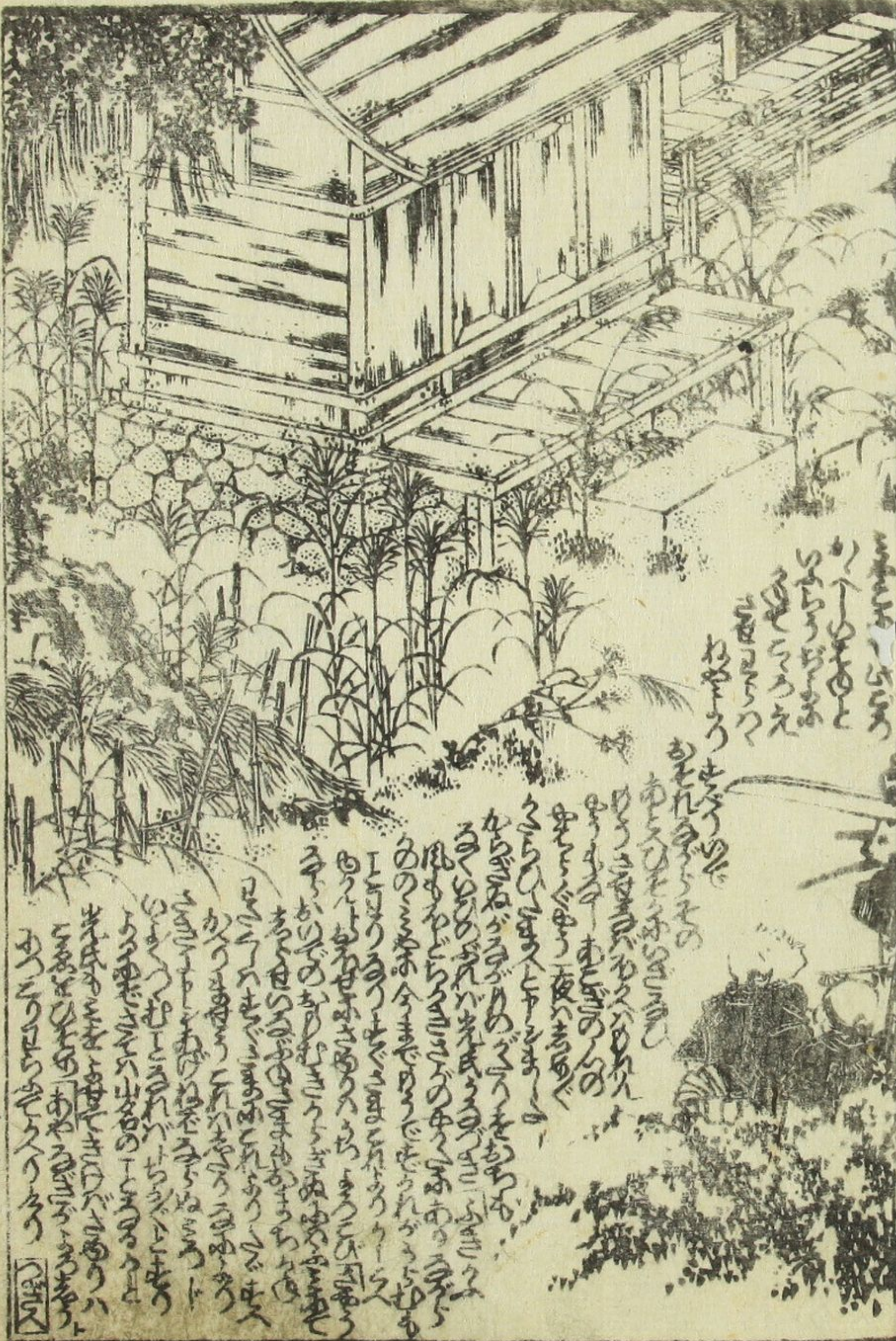


Handwritten text in the bottom right section of the right page, providing commentary or a continuation of the narrative.

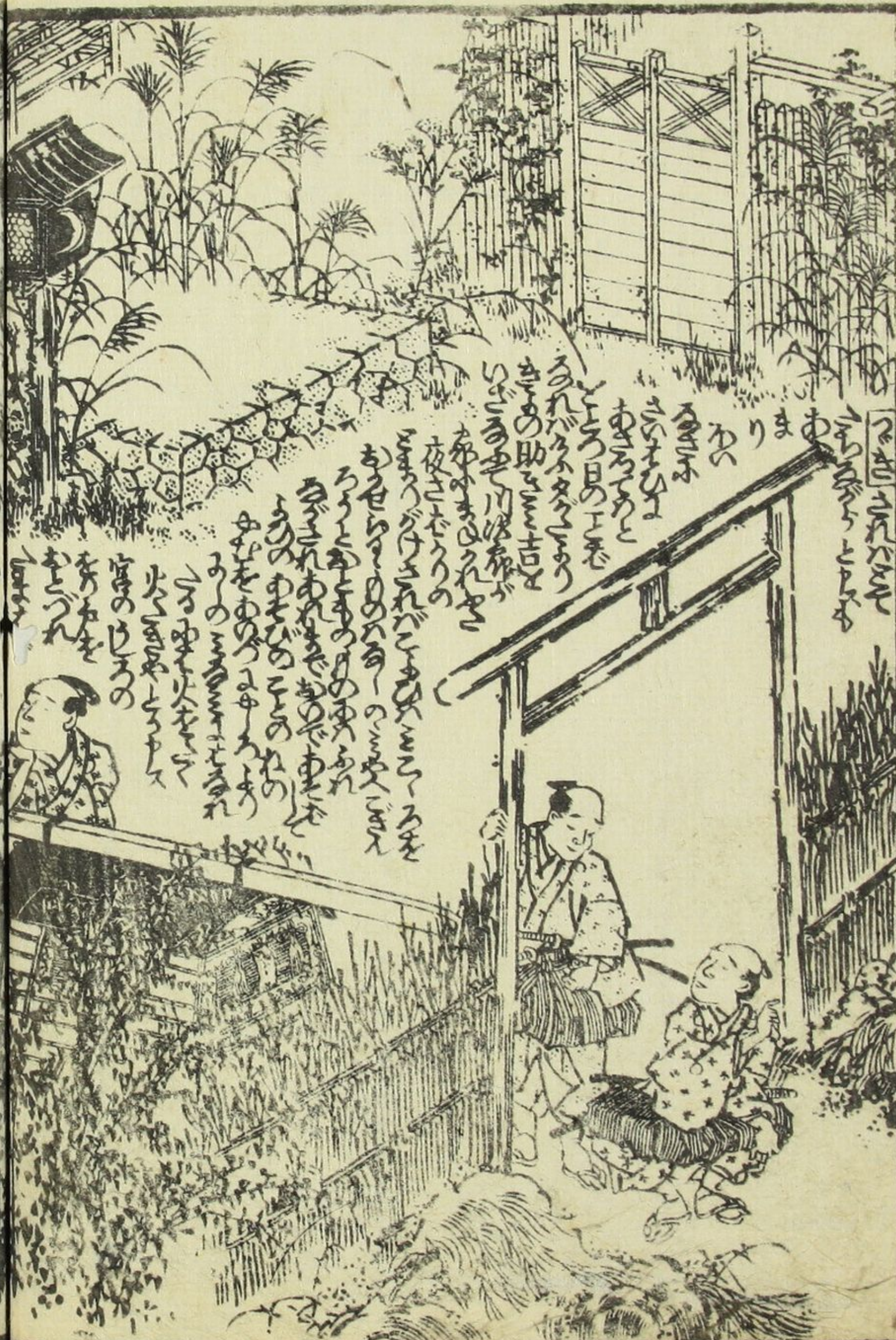
Handwritten text in the top left section of the left page, continuing the narrative or commentary.



Handwritten text in the bottom left section of the left page, continuing the narrative or commentary.



此の竹の葉は
 昔の人の心
 今も同じく
 静かに揺れる
 風を待つ
 人の心
 竹の葉は
 昔の人の心
 今も同じく
 静かに揺れる
 風を待つ
 人の心



此の竹の葉は
 昔の人の心
 今も同じく
 静かに揺れる
 風を待つ
 人の心
 竹の葉は
 昔の人の心
 今も同じく
 静かに揺れる
 風を待つ
 人の心

源氏十四巻

十一

源氏十四集
第一卷
第一回

源氏十四集
第二卷
第二回



源氏十四集
第三卷
第三回

源氏十四集
第四卷
第四回



源氏十四集
第五卷
第五回

源氏十四集
第六卷
第六回



源氏十四集
第七卷
第七回

源氏十四集
第八卷
第八回



源氏十四集
第九卷
第九回

天保六年乙未新春彫

洲氏十四編

國貞画種彦作

〇美艷仙女香早翁
 〇黒油美玄香早翁
 〇柳亭種彦作繪草紙二種
 〇倚紫田舎源氏
 〇歌川國貞画
 〇十四編より十七編まで開板仕ひ
 〇白問戯言句合
 〇歌川國芳狂画
 〇浮浪さきりし
 〇歌川貞秀画
 〇昔はまきちんちんく
 〇茶番のいろは



〇美艷仙女香早翁
 〇黒油美玄香早翁
 〇柳亭種彦作繪草紙二種
 〇倚紫田舎源氏
 〇歌川國貞画
 〇十四編より十七編まで開板仕ひ
 〇白問戯言句合
 〇歌川國芳狂画
 〇浮浪さきりし
 〇歌川貞秀画
 〇昔はまきちんちんく
 〇茶番のいろは

柳亭種彦作繪草紙二種

倚紫田舎源氏

歌川國貞画

白問戯言句合

歌川國芳狂画

浮浪さきりし

十四編より十七編まで開板仕ひ

種彦校合

枕琴夢之通路
仙果作
六冊

上州機華綾織
上
六冊

井筒の藝子
八百屋の娘
紫房
歌川貞秀画
六冊

昔はまきちんちんく
三冊

茶番のいろは
二冊

浮浪さきりし
六冊

〇美艷仙女香早翁
 〇黒油美玄香早翁
 〇柳亭種彦作繪草紙二種
 〇倚紫田舎源氏
 〇歌川國貞画
 〇十四編より十七編まで開板仕ひ
 〇白問戯言句合
 〇歌川國芳狂画
 〇浮浪さきりし
 〇歌川貞秀画
 〇昔はまきちんちんく
 〇茶番のいろは



書物錦繪
 問屋鶴屋晋右衛門
 団扇地紙

三海



